

前期区政会議での意見への対応例

《魅力あるまちをつくろう！部会》



★地活協について知ってもらい、地域活動とはどんなものかというものを見えるようにしていくことが大事。



☆各地域の夏祭りのポスターを庁舎内に掲示しました。各地域の活動紹介ムービーを作成し、区民まつりの会場で放映・PRを行いました。



★区民まつりを、雨天時でも開催できるような場所の検討を。



☆R1年度から雨天時でも影響の少ないよう、区役所庁舎や東淀川消防署を活用して実施し、多数のご来場をいただきました。

《健康・福祉部会》



★困窮者の把握が難しく、埋もれている方がいる。見えない困窮者との連絡や支援はどこまでできているのか。



☆「支援全体会議」（生活困窮者支援の状況と課題を共有し、地域づくりに活かす検討）と「支援担当者会議」（生活困窮者の情報共有とケース検討）の二層構造の「支援会議」を設置しました。



★受動喫煙は身近で重要な課題であり、認知している人が少ないのであれば積極的に啓発していかなければならない。



☆広報紙、健康展等のイベント、東淀川区役所庁舎内にポスターを掲示するなど、啓発しています。

《教育・子育て部会》



★発達障がいの子どもの接し方について、啓発・周知し、相談しやすくすれば。



☆心理相談員を1名配置し、子育てに関する困りごとや心配事のある養育者に対して、相談しやすい個別対応を拡充し、きめ細やかな相談体制をつくりました。



★中学生勉強会は、とてもいい事業であるが、需要に反して枠が少ないのでは。



☆中退防止のため、継続した支援が必要な高校生も受け入れています。高校生の受け入れ人数を1か所9名（H30年度までは3名）に増員しました。

《安全・安心部会》



★広報紙を使い、毎月、防災の取組テーマを決めて、防災知識の啓発をしてはどうか。



☆広報ひがしよどがわR1年6月号より毎月「ちょっと防災」の記事を掲載し、防災知識の啓発を行っています。



★災害時に青パトを活用して、避難所開設のアナウンスができるの良いのでは。



☆避難所開設のアナウンスについて、青パトを広報車として活用しました。